

令和5年度

# 甲州市総合教育会議議事録

令和6年2月16日 開会

令和6年2月16日 閉会

甲州市政策秘書課

1 日 時 令和6年2月16日(金)

午後1時25分開会

午後2時6分閉会

2 場 所 甲州市役所 本庁3階 第三委員会室

3 出席者 甲州市長 鈴木幹夫

甲州市教育委員会

教育長 小林俊彦

教育長職務代理者 永田清一

教育委員 加藤幸夫、田口由季、依田智子

事務局職員

副市長

政策秘書課長(事務局長)、政策調整担当リーダー、政策調整担当

教育総務課長、教育総務担当リーダー

4 欠席委員 なし

5 協議事項等

(1)甲州市の学校教育について

①塩山中学校・塩山北中学校の統合について(報告)

②勝沼中学校の統合後の状況について(報告)

③GIGAスクール構想の取り組みについて(報告)

6 議事経過 以下のとおり

(午後1時25分開会)

○前田事務局長〔政策秘書課長〕

それでは、定刻より若干早いですけれども、委員の皆さまお揃いですので、ただいまから令和5年度総合教育会議を開催させていただきます。

始めに、挨拶を交わしたいと存じます。ご起立ください。相互に礼。ご着席ください。

それでは令和5年度の甲州市総合教育会議を進めさせていただきます。

私、総合教育会議の事務局長となっております政策秘書課長の前田と申します。よろしく願いいたします。

それでは次第によりまして、2番の市長あいさつです。

鈴木市長からごあいさつをお願いします。

○鈴木市長

本日は、総合教育会議の開催にあたり、ご多忙の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より本市の教育行政につきまして、格別なご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年度は、この会議において教育委員会と連携を密にとりながら、教育大綱の改定を行いました。今後お互いに意思疎通を図りながら、連携して教育行政を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

本日は、令和7年4月からの塩山中学校と塩山北中学校の統合についての経過報告や、勝沼中学校の統合後の状況等について報告がなされるとのことであります。有意義な会議となるよう、ご協力をお願い申し上げましてあいさつとさせていただきます。

議事

(1)甲州市の学校教育について

○前田事務局長

ありがとうございました。

それでは、議事に入らせていただきます。

本日は、先程市長のあいさつにあったとおり、甲州市の学校教育ということを経事といたしまして、次第にございます①から③の3点について報告を予定しております。

始めに、教育長から全体の報告をお願いします。

○小林教育長

本日の議題全般について、ご報告させていただきます。

まず、塩山中学校、塩山北中学校の統合につきまして、教育委員会では、令和4年12月に塩山中学校、塩山北中学校及び神金第二中学校の統合が正式決定以降、児童生徒、保護者に寄り添い、その意向に配慮した対応を心がけて、準備を進めてきたところがあります。

令和7年4月の統合期日まで残り約1年となりますが、引き続き新しい塩山中学校の開校と、昭和34年に創立され、これまで65年間、大藤、神金、玉宮地区とともに歩んできた塩山北中学校の閉校に向けて、関係各位と綿密に連携し、円滑に準備を進められるよう取り組んでまいります。

次に、勝沼中学校の統合後の状況につきまして、統合時に大和中学校から勝沼中学校に編入した2年生が、今年3月には卒業の一つの節目を迎えます。来年度から勝沼、大和地域から通学する生徒は、全て入学時から勝沼中学校に通う生徒となります。

引き続き、勝沼、大和地域に根差した、地域とともにある学校づくりを進めてまいりま

す。

最後に、GIGAスクール構想の取り組みにつきまして、市長が、事業当初段階から教育委員会の意向を尊重し、予算措置してくださいましたので、学校施設のネットワーク環境や、一人一台のICT端末を早期に整備できたことで、本市におけるGIGAスクールの取り組みが、県内の他市町村に先駆け、先進的に実施することができております。

一方、今後につきましては、ICT端末の更新や電子黒板等周辺機器の整備等、財政面での大きな負担を必要とすることなど課題も抱えております。

これまで本市で取り組んできた甲州教育実践の蓄積と、最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す甲州市GIGAスクールの更なる推進のためにも、引き続きのご支援をお願いいたします。

私からの報告は以上となります。引き続き、清水教育総務課長から詳細な説明がありますので、よろしくお願いいたします。

#### ○前田事務局長

ありがとうございました。

それでは、引き続き清水教育総務課長より①②③と続けて報告をお願いします。

#### ○清水教育総務課長

それでは、よろしくお願いいたします。まず、塩山中学校及び塩山北中学校の統合についてご報告させていただきます。

資料1をお願いします。令和7年4月の両中学校の統合を円滑に行うために必要な準備、検討を図るため保護者代表及び教職員の代表で組織いたします、塩山中学校及び塩山北中学校統合準備委員会を昨年5月に設置いたしました。資料にはございませんが、2月8日にも会議を行い、これまでに7回の協議を進めてまいりました。協議を重ねる中で決定した項目といたしましては、1.校歌、校章、校旗については、現在の塩山中学校のものを継続していくこと。2.制服、体育着等の学校指定品については、新たに選定すること。特に制服については、多様性に配慮したユニバーサルデザインを採用すること。3.遠距離通学となる塩山北中学校区から塩山中学校へ通学する生徒の通学手段を確保するため、スクールバスの導入をすること、でございます。

制服につきましては、児童生徒及び保護者の皆様からのご意見を聞く中で、上着が紺、スラックス、スカートはグレーのチェック柄のブレザータイプと決定いたしました。エンブレム及びボタンデザインを中学生から募集し、現在作成中であり、ネクタイ、リボンと合わせまして、本年度末までには、全体のデザインを決定したいと考えております。夏服着用のルールや体育着、通学カバン等の指定品につきましては、来年度協議してまいりたいと考えています。

スクールバスにつきましては、市民バスの定時運行路線と同一路線とし、国道411号、二本木線、玉宮線の各3路線に朝夕2便ずつ運行する予定であります。乗降場所や運行時間などの詳細は、今後協議してまいりたいと考えております。

また、庁内においても統合に向けた進捗管理と、関係各課が対応する職務の把握等を

行うため、塩山中学校及び塩山北中学校統合庁内準備委員会を設置し、情報共有を図っているところであります。

なお、統合を見据えました両校の交流活動として、5月の校内陸上競技大会をはじめ、先月にはスキー教室を1泊で行うなど、統合後にスムーズに学校生活が送れるよう取り組んでいるところであります。

次に、勝沼中学校の統合後の状況について説明させていただきます。

資料2をお願いします。令和4年4月に勝沼中学校と大和中学校を統合し、本年度は大和地域から14名の生徒が通学しております。バドミントンとテニス部のみであった部活動につきましても、希望する活動ができるようになり、学校生活を楽しんでいることがうかがえます。

当課といたしましても、統合後の学校生活が安心して送れるように、子ども支援スタッフの増員や臨床心理士スクールカウンセラーの派遣、大和小児童保護者への学校指定品購入助成等の支援を行ってきたところであります。

また、地域との関係を継続するため、学校運営協議会への大和地区からの委員選出、武田勝頼公祭りへの参加等を行ってまいりました。

昨年度末には、大和中学校から勝沼中学校へ編入した生徒を対象に、統合後の学校生活についてアンケートを行ったところ、大勢で考えることができる、わからないところも友達同士で解決できる、部活動もやりたい活動ができる等、想定していた統合によるメリットが結果として表れていると考えます。友人関係で悩むこともございますが、教員同士が情報共有し、改善されている様子もみてとることができます。

本年度につきましては、全校生徒を対象にアンケートを実施し、回答いただいた生徒の80%以上が、統合後の不安や困ったこと、改善してほしいことはないと回答しています。また、お互いの地域の伝統行事を知ることで、郷土についての関心が高まったとの意見もあり、広い視野で物事をとらえる意識が生まれてきたものと考えます。来年度以降も引き続き、生徒に寄り添った支援を行ってまいります。

次に、GIGAスクール構想の取り組みについてご報告をさせていただきます。

資料3をお願いします。本市につきましては、県内市町村に先駆け、令和2年12月に市内全ての児童・生徒に学習用端末の整備を行い、国が目指す、令和の新たな日本型学校教育に対応してきたところでございます。

これまでの取組により、一人一人の習熟度に合わせた授業の実現、子どもたちが多様なコンテンツに触れることにより、新しい価値観の発見や、地域の魅力に気づくことにより思考力を育む等の効果が上がってきているものと考えます。

本市におきましては、加速化事業の一つである国のリーディング DX スクール事業の採択を受け、塩山南小学校と塩山中学校が指定校となり、学びの充実事業に取り組んでおります。両校につきましては、県内外から教育関係者により視察が行われ、本市の取組について、発表する機会を得ているところであります。

また、教科指導における ICT 端末活用や情報教育への取り組みが評価され、市内15校が学校情報化優良校として認定されたところであります。優良校の割合が80%を越えたことから、県内では初となる学校情報化先進地域の申請を先日行い、審査に付され

ている状況であります。教育の情報化をさらに推進してまいります。報告は以上です。よろしく願いいたします。

○前田事務局長

ありがとうございました。

それでは、市長から一言お願いします。

○鈴木市長

ただいま、教育委員会から3点の報告をいただきました。

令和7年4月の塩山中学校と塩山北中学校の統合に向け教育委員会において取り組んでいただき、感謝申し上げます。

本市の未来を担う子ども達が、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、引き続きご尽力いただくようお願いいたします。

勝沼中学校に通う大和地域の生徒さんについては、学校に馴染んで楽しく学校に通っているとのことと安心していたしました。これからも、勝沼中学校に通う生徒さんについて引き続きご配慮いただくようお願いいたします。

GIGAスクール構想の取り組みについては、県内で最初に導入したことやその取り組みの実績が評価を受け、塩山南小学校と塩山中学校の2校がリーディングDXスクール事業の指定校に選ばれたということで、大変素晴らしいことだと思います。今後も引き続き取り組んでいただけますようお願いいたします。

ここで私の報告になりますけれども、今月9日に初登庁させていただきまして、大勢の職員の皆さんに出迎えられ、本当に感銘をいたすとともに身の引き締まる思いでありました。新たな4年間皆さん方とともに教育の問題等いろいろな面で一丸となって対処していかなくてはならないと思っています。いろいろな問題がでてくと思いますが、教育委員会は教育委員会として一致団結して対処していただければとお願い申し上げ、私のあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○前田事務局長

ありがとうございました。

議事の全体統括とそれから清水教育総務課長から説明がありました。

教育長の方で一言あればお願いします。

○小林教育長

本日の議題であり、報告の機会をいただきました、中学校再編、GIGAスクール構想に基づく取り組みは、いずれも本市の児童生徒の教育環境に関する重要な教育施策であります。

教育委員会といたしましては、総合教育会議での協議等を通じて、市長部局と政策の方向性を共有し、一致して今後の業務を執行していきたいと考えておりますので、引き

続きよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

○前田事務局長

ありがとうございました。

それでは次に進めさせていただきます。④のその他ですけれども、委員の皆様から、こういう機会ですので一人一言ずついただきたいと思ひます。お願ひします。

○永田職務代理者

市長から先程お話がありましたので、市長今後ともよろしくお願ひします。

統合の問題からちょっと感想も含めてお話をさせていただきます。実は、私と副市長の母校であります塩山北中学校のことが、今日は話題になるわけです。けれども幸いなことに、何度もきめ細かく地域の人たちの意見を聞いてもらっているということ、これはコンセンサスにおいても非常に重要なやり方ですが、それをきちっと遂行していただいているということが、一つ強い印象として残りました。そして、地域にいる保護者の皆さんも、どういふに今後関わっていったら良いのかという具体的な像が、具体的に理解されていったというようなことを私は感じております。何かそういう話も出るわけですが、少子化の中であそこから塩山中学校に来ること自体も心配をしている親もおります。しかし、それをどういふにカバーするのかというのは、教育委員会のいろいろな会議の中で一つ一つが解決していくということがあったようでございます。それは安心に繋がります。学習環境としては、大変良い方向であるというふうにも感謝しております。

それから、先程の勝沼中学校の話があったわけですが、この勝沼中学校の状況をお聞きしまして、やはりこの中学の多感な時代の3年間が、そういう行動を起こさせるのだなということを感じました。教科書によるその内容の充実感もありますが、それとともに、そこに学ぶ友達同士のうちの一人一人に会うことによって、自分の生活感が磨かれているというようなことも感じられます。その中の一つに、部活動があると思ひますが、部活動は決して単位を取るといふ問題ではないのですが、自分の趣味とか、あるいは自分がやりたいことを友と一緒に汗を流す。その汗を流すことが、一つ一つの子どもの思い出になる、ということでしょうから、こういうこともやはりこれだけの人がいて、そして多くのクラブ活動に自分も参画できるという具体的な実在像がここにありますので、おそらく塩山北中学校の統合の後も、同じようなことは起こるのだろうと期待をしております。

GIGAスクールのことですが、端末を個人個人に貸していただいて勉強していくのですが、私の最初の個人的な感想だったのですが、これはすごい個人差が出るなど、とりわけこれは面白い楽しいということ、こんなことはわからない、ちんぷんかんぷんだ、ということで、学習の格差が変に出ては困るといふ妙な心配もしていました。ところがここまで来て、教育長と一生懸命叱咤激励をしながら現場の皆さんにもお願ひをしながらやってきたのですが、良かったところが二つあります。

一つ目の良かったところは、あの日例えばA校だけを取り組んで、そのA校からいろいろ浸透させていくというのではなくて、指導者をA校だけではなく10校あれば10校全部を集めて、同じような共通理解をして、それを共有して学校に帰って職員と一緒にやっ

てきた。だから私はそういう意味で言うと、トップランナーがいて、後をおっかけるのではなくて、皆が同じステージに上がって、その同じステージのところを今日はここまで明日はどこまでというふうに進んでこられたのかなど、そういう方法に感謝もしますし、良かったなというふうに思います。

二つ目の良かったところは、1人でできる子は多分どんどんやると思います。端末から得る情報なんて際限ないですから、先生の今までの一斉授業の中で教わっただけの知識ではなくて、端末にどんどんいろいろな知りたいことが入ってくると思います。それも得手不得手が出てしまうと個人差が出る。ところが、最初のリーディング DX スクール事業の実践事例に、「クラスルームに流れとゴールを提示する」、「ゴールであるループリックを児童と確認！」とある。実際の授業の中で「児童と確認」のときに、自分1人ではなくてちょっと迷ったときにはすぐ隣の子どもに聞く。隣の子どもに聞くまでもなく皆寄ってくる。1人でできる子もいますが、グループを組んでやっていくというような、そういう学習スタイルが現場にはすごく出ていると思います。それで私の不安はすっとびました。だから誰かを追い越せ、突き放せではなくて、皆と一緒にいける。皆と同じ歩調でいける。そうすると、仲間同士の信頼感が当然芽生えますし、聞くほどの恥ずかしさはない。先生も「どんどん聞いていいよ」「席を離れてもいいよ」と助長します。「席に着いて静かに聞きなさい」ではないのです。そういうようなスタイルが出てきたというのが大変嬉しく思います。感想も含めてちょっと長くなりましたが以上です。

#### ○前田事務局長

ありがとうございました。

続いて加藤委員お願いいたします。

#### ○加藤委員

統合の問題につきましては、やはり私も教育委員会の方に出席させていただきながら話をいろいろ聞かせていただいたり、ご意見させていただくなかで、やはり実際に統合の問題点というのはかなり重要な問題で、ややもすると大変なことになるというのが考えられるのですが、本市の場合は、やはり今説明があったとおり、非常にきめの細かい取り組みが行われているというように我々も思っておりますし、その中で非常に順調に進んでいるのではないかというふうに思っております。まず、やはり住民感情、そういうものに非常に配慮しながら進められている。例えば、令和7年の統合につきましても、当時4校だったところが3校になった。それに関わっても、松里中学校を置いてきぼりにするのではなく、周囲の関わりが今のお話の中にはありませんでしたけれど、非常にきめの細かな配慮があって、子どもを主体にしながら、非常に地域に配慮しながら進めていくというところ、これを大事にしていきたいなというふうに思いました。

また、勝沼中の問題におきましても、統合したらそれで終わりではなく、今お話にあったように統合後の調査や環境整備もやはり皆で取り組んでいる。このような姿勢をやはり我々今後も続けていくことによって、より良い学校の未来がひらけるのかなんていうことを思っております。

GIGAスクールにつきましては、やはりGIGAスクールのIT化に向けた環境整備という国の5ヶ年計画が出まして、もうここで5カ年を迎える頃になっているわけですが、そういうような中で、コロナがあったのもありますけれども、非常に私の想像以上にIT化が進んだというふうに思っています。その進んだ中においても、先程の話があったように甲州市が更に一歩も二歩も前進している。そこには、やはり財政的な支援もないと進まないことでしたのでありがたいと思ったり、高く評価できる場所ではないかというふうに思っています。今後も先程教育長から話がありましたように、やはりランニングコストがかかるものですので、今後もまたご支援をいただきたいと思えます。

今授業改善が、授業デザインという話題の中で非常に変わっています。私達の世代の教員は非常に抵抗があったのですけれども、そういう抵抗感も少なくなっていくところは、委員会が主導して教員の研修を非常にやっているということも、成果としてあがっているのではないかと思っています。

ちょっと話が別になりますけれども、不登校も数が増えていく中で、新しく小学校1年生の日課についても、教育長はいち早く弾力的な運用を、ということで委員会の中で提案をし、各学校でそれを実践していく方法で今進んでいます。そのようにやはりIT化が進んでくるということは、当然効果不効果の面においても、授業時数を含めて特例制度を活用するしないはともかくとしましても、そのような方向も今後考えていく時代になるのかなあ、なんていう視点も持ちながら進めていければというふうに思っております。いろいろありがとうございます。

#### ○前田事務局長

ありがとうございました。

では田口委員よろしく申し上げます。

#### ○田口委員

学校の統合についてですけれども、とてもデリケートな内容だったのですけれども、非常に地域やご父兄の方々、子どもたちと事細かく蜜にして進めているということで、親の安心感・子どもの安心感に繋がるということ。それと先の勝沼中学校と大和中学校の統合がありましたけれども、それについても2年経ちまして慣れてきているし困ったと思うこともない。互いの文化についてもより良く知ることができていると。子どもたちにとって世界が広がっているということがわかっていますので、塩山中学校の統合についても、2つの地域の子どもたちの世界が広がるのだなあと思って見えています。

それとリーディングDXスクールの方ですが、世界的なコロナのことがありましたので、山梨県内でいち早く一人一台端末が進みまして、それを本当にありがたいと思っております。それについて教育委員会としてそれぞれの学校をまわったのですけれども、今までのお子さんって、元気なお子さんは自分から発言するのですけれども、ちょっと控えめなお子さんは発言できなかった。ですけれども、この一人一台端末によって子どもがどんどん自信を持てるようになってきているような気がして、本当に良かったと思っています。これからも子どもたちのためによりしくお願いいたします。

○前田事務局長

ありがとうございました。  
では、依田委員よろしく願います。

○依田委員

このような機会をいただきましてありがとうございます。

まず統合ですが、教育委員の先生方からありましたとおり、大変細かく進めてくださっていることにありがたく思っています。勝沼中学校の生徒の皆さんへのアンケートを拝見したのですが、概ね良かったという声、特に交友関係が広がったという声がありました。最も多かった回答ということで、交友関係が広がったとあるわけですが、それはもう塩山中学校と塩山北中学校の統合でも間違いなくそういう意見がでてくるのではないかとそういう期待をしております。

それから、勝沼中学校に対してのアンケートの中で概ね良い回答なのですが、本当に少数意見として、こういうふうにしてほしいという改善意見がありました。これを全て対応するのは厳しいと思いますが、ただそういう少数意見も多感な中学生たちからあがっているということですので、そのあたりしっかりと対応していただきたい、現場の先生も含めて対応をお願いしたいなど感じています。

それからGIGAスクール構想ですけれども、これは本当に素晴らしいというふうに感じています。私は去年初めて学校訪問に行かせていただきまして、授業の進め方というのが、以前私が知っている学校の授業と全く違って、まさに革命期だなと思いました。恐らく学校の現場の先生方は戸惑いがとてもあったかと思いますが、いろいろ研究された中で今の形がほぼ出来上がったということで、甲州市のGIGAスクール構想が本当はかなり高く評価されていて、以前甲州市で視察に行った静岡県吉田町が、今度は視察に来られるなんていう話をお伺いしましたので、成功したな、というふうに感じています。ただその一方で、一人一台端末で概ねうまくいっているのですけれども、ただ自分自身のことを振り返ったりしますと、ワープロを使いだした頃に漢字が書けなくなっちゃったとか、やはり書いて覚えることとかいろいろあると思います。そのあたり端末に頼りすぎるのではなくて、やはりいろいろなツールを使っての授業の取り組みというのも、これから考えていっていただきたいというふうに思います。以上です。

○前田事務局長

ありがとうございました。貴重な意見をいただきましてありがとうございます。

○市長

統合という問題を考えまして、統合をはじめたときは、前教育長が苦渋の選択とは言いたくないけれど、やはり信念を持ってこれをやらなければなし得ることはできないということの中で進めていました。

小林教育長になってから、大和の方々と直接接した中で、非常に荒く来られたこともありましたが、高齢の方々は「市長これは一部であって、子どものためにと言っていただ

けるならばするべきだよ」という話がございました。小林教育長は大変だったけれども、統合した今となってみると、大和へ行ったときに「統合してよかった」と言っていたので、やはり統合してよかったと思っています。

それからGIGAスクールについては、県内の中でもすごくいい方向にいったのではないかと思います。

これは今どうこうということではないと思うのですが、中学校の統合も含めて、今度は自然減の中で人口減少をどの程度にみるか。あまりにも子どもの数が減ってくるとなると、これも考えないとならない。教育方法の中でいけるというのならば別に問題はないけれども、小学校だって中学校と同じようなことも、いずれ5年10年後は考えられるかなというふうな今後の考えがあります。だから他人ごとではなく教育委員の皆さん方も、やはり教育委員会としてどうしたらいいかという視点から考えてほしい。先程永田先生が言ったように、子どもの教育を考えた場合にどちらがいいということは必ずでてくる。小学校の大小がありますので、いろんな協議を重ねなければならない。小学校を統合するという問題にいずれなる可能性も多いかなということで、老婆心ながら話をしました。

今日皆さんのお話を聞いて、やはり大和中学校の統合はやって良かったというふうに改めて感じました。ありがとうございました。

#### ○前田事務局長

ありがとうございました。

一言あれば最後をお願いします。

#### ○永田職務代理者

やはり大事なものは、私が個人的にそう思っているのですが、小学校は6歳から12歳という、つまりその年齢がどういう学びを身につけさせることが大事なのか、ということが最初にでてくる。中学校は15歳までで、これも多感な時代じゃないですか。人も知りたい、いろいろなこともやりたい、そういうときには、やはりその欲求といいますか、そういうことに応えられるような環境整備をしなければいけない。教育としてしなければいけないということもありますので、そう簡単にはいかないと思います。しかしながら、昔からそういうふうなことも考えていて、やはり皆が明るい将来をイメージできるような統合を、とおそらく市長もそう言っていると思うのです。

#### ○市長

そのとおりです。例えば極端に言うと、小学校の児童が15人だとすると、中学校では下手をすると10人になってしまう。そういう学校をどうするかということもやはり考えなければいけない。場所もあります。今どうこうではないのですが、どこかで考えなければいけないと思う。そして、やはりいろいろな面で研究した方がいいかなと感じております。それは当然紆余曲折することであって、それはそれでいいと思うのですが、ただ前向きに話し合ったりすることはいい。

今は、例えば中高一貫とか、それから小学校と中学校の一貫教育とかいろいろなモデ

ルがありますので、その辺もやはり考えていかなければならないかなと思います。

○前田事務局長

最後に活発な意見交換をさせていただき、令和5年度末の総合教育会議良かったかなと感じております。今後も市長部局それから教育委員会が連携して、教育大綱や教育振興基本計画に沿って一緒に進んでいきたいと思いますので、ぜひ教育委員の皆様にもご尽力いただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、本日の会議につきましては、これで閉会とさせていただきたいと思います。最後に相互に礼。ありがとうございました。

(午後 2 時 6 分閉会)